

# 取扱説明書

19 型液晶ディスプレイ

## N8171-56

MODEL: M199E8

# 目次

ご使用の前に .....	1	推奨使用方法 .....	8
安全のために必ず守ること .....	2		

## 主な特長

### 1 章 設置

各部の名称 .....	11	設置 .....	15
接続 .....	13		

### 2 章 基本操作

電源オンモードと電源オフモード .....	21	自動入力選択機能 .....	21
Plug&Play 機能 .....	21	パワーマネージメント機能 .....	22
拡大・スムージングファイン機能 .....	21	画面調節 .....	23
ノータッチオートアジャスト機能 (NTAA: No Touch Auto Adjust) (アナログ接続の場合のみ) .....	21	画面調節 (OSD 機能) .....	24

### 3 章 困ったとき

故障かな?と思ったら… .....	26	ディスプレイを長くご使用いただくために .....	29
-------------------	----	---------------------------	----

### 4 章 仕様

N8171-56 .....	31
----------------	----

### 付録 A OSD 調節リスト

### 付録 B 再梱包するとき / 市販のアームを取り付けるとき

再梱包するときには .....	35	市販のアームを取り付けるとき .....	36
-----------------	----	----------------------	----

### 付録 C その他

保証とアフターサービス .....	38
-------------------	----

# ご使用の前に

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI — B

## ⚠ 注意

建物に設置された配電盤は 100V 最大 20A の回路遮断装置を備えていることを確認してください。

## 注意

添付のケーブルを使用してください。

ミニ D-Sub 15 ピンはシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。HDMI、DisplayPort、AUDIO はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。

Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。



- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「保証書」・「セットアップマニュアル」は大切に保管してください。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本書に記載されてる画像およびイラストは参考用のため、実際と異なる場合があります。
- (5) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項および（4）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## お知らせ 液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は、0.00020% 以下です。



本製品は、ISO9241-307 基準に従い、ドット抜けの割合基準値は 1 サブピクセル（副画素）単位で計算しております。

【注】 一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO9241-307 に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル (pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル (sub pixels)」となります。つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。




# 安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

図記号の意味は次のとおりです。


	⚠ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	🚫 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。



## 警告

 プラグを抜く	<b>故障したときは電源プラグを抜く</b> ディスプレイから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、ディスプレイを落としたりキャビネットを破損した場合は、ディスプレイの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけではなく、視力障害の原因になります。販売店に修理をご依頼ください。 お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
 使用禁止	<b>地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなう</b> 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
 使用禁止	<b>ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は使わない</b> そのまま使用すると、液晶ディスプレイが落下してけがの原因となります。 
  分解禁止  修理・改造禁止	<b>裏ぶたを外さない、修理・改造をしない</b> 内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。修理の場合は販売店へお問い合わせください。 <div data-bbox="523 1173 943 1375" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">   <b>警告</b>  <b>高圧注意</b>  <small>サービスマン以外の方は分解しないでください。内部には高電圧部分がありますので、万一さわると危険です。</small>  <b>感電注意</b>  <small>電源コードのアースリード線は必ず接地ください。故障のときに感電の原因となります。</small> </div>  「本体背面ラベルに表示した事項」
 傷つけ禁止	<b>電源コードを傷つけない</b> 電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・添付されているもの以外の電源コードは使用しない</li> <li>・コードの上に重い物をのせない</li> <li>・コードをディスプレイの下敷きにしない</li> <li>・コードの上を敷物などで覆わない</li> <li>・コードを傷つけない、加工しない</li> <li>・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない</li> <li>・コードを加熱しない</li> </ul> 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。 
 禁止	<b>傾斜面や不安定な場所に置かない</b> 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。 

 <p>使用禁止</p>	<p><b>キャビネットを破損したときは使わない</b> 火災・感電の原因となります。</p> 
 <p>禁止</p>	<p><b>異物をいれない</b> 火災・感電の原因となります。 特にお子さまにご注意ください。</p> 
 <p>水ぬれ禁止</p>	<p><b>風呂場や水のかかるところに置かない</b> 水などがディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>アースリード線を挿入・接触しない</b> 電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。</p> 
 <p>指示</p>	<p><b>正しい電源電圧で使用する</b> 日本国内専用です。 指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。 一般のご家庭のコンセント (AC100V) でお使いいただくための電源コードを添付しております。 AC100V 以外で使用しないでください。 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>ディスプレイの清掃時に気を付けること</b> 付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 火災の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>ポリ袋で遊ばない</b> 本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因となります。 特にお子さまにご注意ください。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p><b>雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない</b> 雷が鳴り出したら電源コードなどには触れないでください。 感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>本装置の使用環境について</b> 人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しないでください。本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。</p>

## ! 注意

<div style="text-align: center;">             設置禁止         </div> <div style="text-align: center;">             禁止         </div> <div style="text-align: center;">             屋外での 使用禁止         </div>	<p><b>設置するときに気を付けること</b></p> <p>移動や設置の際は十分な安全を確保できる人数でおこなってください。 落下してけがの原因となることがあります。</p> <p>布などで通風口をふさいだり、以下の場所に設置したりしないでください。 風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、 火災や感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭い場所</li> <li>・ 直射日光や熱器具のそば</li> <li>・ 振動の多い所</li> <li>・ 湿気、ほこり、湯煙、湯気の当たる所</li> <li>・ 屋外</li> <li>・ 温度、湿度が急激に変化し結露ができやすい環境 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。 そのまま使用すると故障の原因となることがあります。</li> </ul> <p>取扱説明書で示している設置以外での設置はおこなわないでください。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
<div style="text-align: center;">             禁止         </div>	<p><b>ディスプレイや置き台には乗らない</b></p> <p>ディスプレイや置き台には乗らないでください。 また、キャスター付き置き台にディスプレイを設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。ディスプレイが倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。</p>
<div style="text-align: center;">             禁止         </div>	<p><b>液晶パネルに衝撃を加えない</b></p> <p>破損してけがや故障の原因となることがあります。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
<div style="text-align: center;">  </div>	<p><b>液晶を口にしない</b></p> <p>液晶パネルが破損し、液晶がもれ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。 中毒を起こすおそれがあります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。</p>
<div style="text-align: center;">             禁止         </div>	<p><b>近くで無線機を使用しない</b></p> <p>本機の近くで PHS、携帯電話等の無線機を使用しないでください。誤動作の原因となることがあります。</p>
<div style="text-align: center;">             禁止         </div>	<p><b>腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない</b></p> <p>腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となることがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。</p>





## 液晶ディスプレイを廃棄する場合




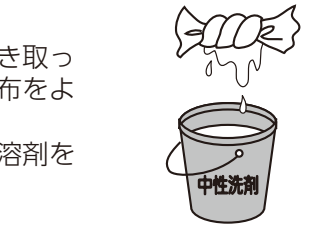
ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳細は所在の地方自治体にお問い合わせください。なお、本機に添付の電源コードについても他の装置への誤用を防ぐため、本機と一緒に廃棄してください。

 プラグを持つ  プラグを抜く  しっかり 差し込む  ぬれ手禁止  禁止  ほこりを取る  アース線を 接続せよ	<p><b>電源コードは注意して取り扱う</b></p> <p>電源コードが破損すると、火災・感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</li> <li>電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない</li> <li>電源プラグを奥までさしこむ</li> <li>電源コードの抜き差しはプラグ部分を持っておこなう</li> <li>電源コードが容易に抜けるのを防止する</li> <li>お手入れの際は電源プラグを抜く</li> <li>電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く</li> <li>長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く</li> <li>アース線を接続する</li> </ul> <p>本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース接続線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アースを外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。</p>   
 手の挟みこみに注意	<p><b>スタンドに指をはさまない</b></p> <p>スタンド調節時または市販のアーム取り付け時に指や手をはさむとけがの原因となることがあります。</p> <p><b>スタンドまたは市販のアームを取り付ける場合</b></p> <p>市販のアームを取り付ける際は本機を支えるのに十分なものをご使用ください。アームまたはスタンドを取り付ける際は指定のネジを使用し、しっかり締めてください。液晶ディスプレイの転倒または落下の原因となることがあります。</p>
	<p><b>ヘッドホンを着したまま接続しない</b></p> <p>音量によっては耳を傷める原因となることがあります。</p>
 使用禁止	<p><b>推奨の溶剤でお手入れする</b></p> <p>ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。) また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。</p> <p>パネル表面のお手入れに溶剤を使用される場合は水、エタノール、イソプロピルアルコールを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等がディスプレイ内部に入ったり表示面以外のディスプレイ表面に付着すると、商品を破壊するおそれがありますのでご注意ください。</p> 



 内部掃除	<p><b>1年に一度は内部掃除をする</b></p> <p>内部にほこりがたまったらそのまま使うと、火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。</p>	
---	---	---

## ディスプレイの上手な使い方

 国内専用	<p><b>日本国内専用です</b></p> <p>この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。</p> <p>This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>	 For use in Japan only
 プラグを抜く	<p><b>キャビネットのお手入れ</b></p> <p>お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。</p> <p>溶剤をご使用の際は“推奨の溶剤でお手入れする”にて使用できる溶剤をご確認ください。</p>	
<p><b>液晶パネルのお手入れ</b></p> <p>パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押しったりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。</p>		
<p><b>上手な見方</b></p> <p>明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p>		
<p><b>部品寿命による影響</b></p> <p>保証期間を超えて長くご使用した場合、部品劣化によるリスクが高まりますので、製品の買い替えのご検討をお願いします。</p>		

## 重要なお知らせ

### 残像について

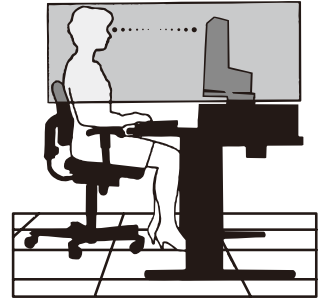
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。

「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

# 推奨使用方法

液晶ディスプレイを正しい位置に置いて正しく調節することで、目、肩および首の疲労を軽減することができます。液晶ディスプレイの前にすわる際には以下の点を確認してください。

- ・ 最適な性能を得るためには、ウォームアップのため20分間の余裕をもたせるようにしてください。
- ・ 画面の上部が目線か目線より少し下にくるようにディスプレイの高さを調節します。画面の中央を見たときに、目線がわずかに下がるようにします。
- ・ ディスプレイは、目の位置から40センチ以上離し、また70センチ以上離れない位置に設置します。目からディスプレイまでの最適な距離は50センチです。
- ・ 連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れたり視力が低下することがあります。1時間ごとに5分から10分の休憩を取り、6メートル以上離れたものを見るなどして目を休ませてください。また、疲れを感じた場合は目を休ませてください。
- ・ 画面のぎらつきや反射を最小限に抑えるため、窓などの光源に対して90度になるようにディスプレイを設置します。天井の照明が画面上に反射しないよう、ディスプレイの傾きを調節します。
- ・ 光の反射で画面が見にくい場合には、ぎらつき防止フィルターを使用してください。
- ・ ほこりの付かない表面の滑らかな布を使ってディスプレイの表面を拭いてください。クリーニング溶剤もしくはガラスクリーナーの使用は避けてください。
- ・ 画面が見やすくなるよう、ディスプレイの輝度およびコントラスト制御を調節します。
- ・ 文書フォルダーは画面の近くに置いて使用してください。
- ・ より頻繁に見るもの(画面もしくは参照資料)が直接目の前にくるように配置することで、キーボード入力中の頭の動きを最小限に抑えることができます。
- ・ 画面の焼き付き(残像効果)を防止するため、長時間にわたって固定したパターンを表示することは避けてください。
- ・ 時々、まばたきをするようにしてください。眼精疲労を予防する眼球体操などを心がけてください。詳細は眼科医にご相談ください。定期的に眼科検診を受けてください。



## お知らせ

人間工学上の利点を最大限に発揮させるため、以下を推奨します。

- ・ 標準信号を用いて、プリセットされた画面サイズ・位置にて使用してください。
- ・ あらかじめ設定されている色を使用してください。
- ・ ノンインターレース信号にて使用してください。
- ・ 暗い背景上の青の原色表示は見にくく、またコントラスト不足による目の疲労を引き起こすおそれがあるため、使用はお控えください。

# 主な特長

## SXGA の高解像度な画像を表示

- 1280 × 1024 の解像度に対応
- DisplayPort Audio、HDMI Audio 対応

## 3 台のコンピューターをひとつのディスプレイで切り替え表示

- 3 系統入力 (13 ページ)

3 台のコンピューターを本機につなぎ、コンピューターの画面を切り替えて表示させることができます。

## 音声や音楽を聞く

- ステレオスピーカー内蔵 (1W + 1W)
- ヘッドホン端子も装備 (12 ページ)

## 明るさや色を調節する

- OSD 機能 (On Screen Display) (24 ページ)

画面の明るさ、表示位置やサイズ、カラー調節などを OSD 画面により調節することができます。OSD 機能そのものに関する操作 (OSD オートオフ、OSD ロックなど) もできます。

## 消費電力を削減する

- エコモード設定機能 (32 ページ)

2 段階エコモード設定で、消費電力を調節することができます。

- 白色 LED バックライトパネル採用

液晶パネルには、優れた発光効率により消費電力低減を実現する、白色 LED (発光ダイオード) 搭載のバックライトパネルを採用しています。省エネルギーのメリットに加え、環境に負荷を与えない水銀フリーも実現しています。

## 目に優しい画面表示

- ブルーライト低減モード (11 ページ)

画面から発光されるブルーライトを低減し、SELECT キーひとつで目に優しい表示に調節できます。

- フリッカーフリー

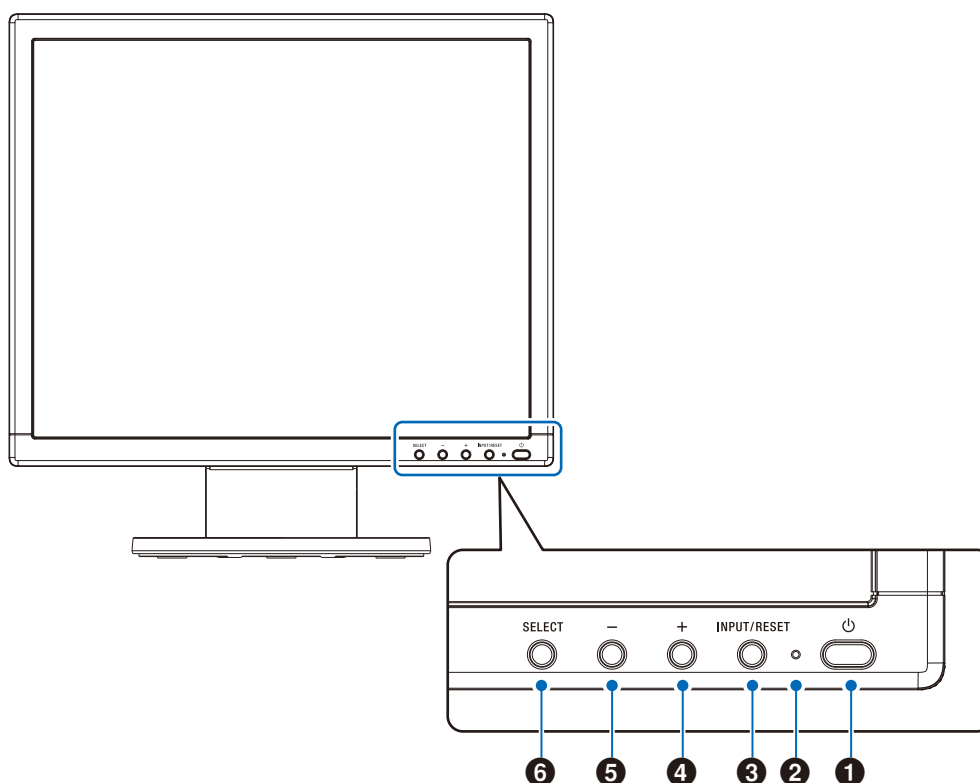
バックライトを直流で制御することで画面のちらつきをなくします。

# 1 章 設置

この章の内容：

- ⇒ 各部の名称 (11 ページ)
- ⇒ 接続 (13 ページ)
  - ⇒ 外部ビデオ信号の接続 (13 ページ)
  - ⇒ コンピューターとの接続 (13 ページ)
- ⇒ 設置 (15 ページ)

## 各部の名称



### ① 電源ボタン（電源ボタン）

電源をオン / オフするときに押します。

#### お願い

電源を短時間にひんぱんにオン / オフしないでください。故障の原因となることがあります。

### ② 電源ランプ

電源を入れたときは電源ランプは青色に点灯します。パワーマネジメント機能の作動中は橙色に点灯します。[\(22 ページ\)](#)

### ③ INPUT/RESET ボタン

OSD 画面が表示されていないとき（ホットキー機能）  
信号入力コネクタを切り替えます。

OSD 画面が表示されているとき

現在表示中のメニュー内の項目のリセット画面が表示されます。

### ④ + ボタン

OSD 画面が表示されていないとき（ホットキー機能）  
音量調節画面を表示します。

OSD 画面が表示されているとき

設定項目を右に移動するまたは数値を増加します。

### ⑤ - ボタン

OSD 画面が表示されていないとき（ホットキー機能）  
ブライツネス調節画面を表示します。

OSD 画面が表示されているとき

設定項目を左に移動するまたは数値を減少します。

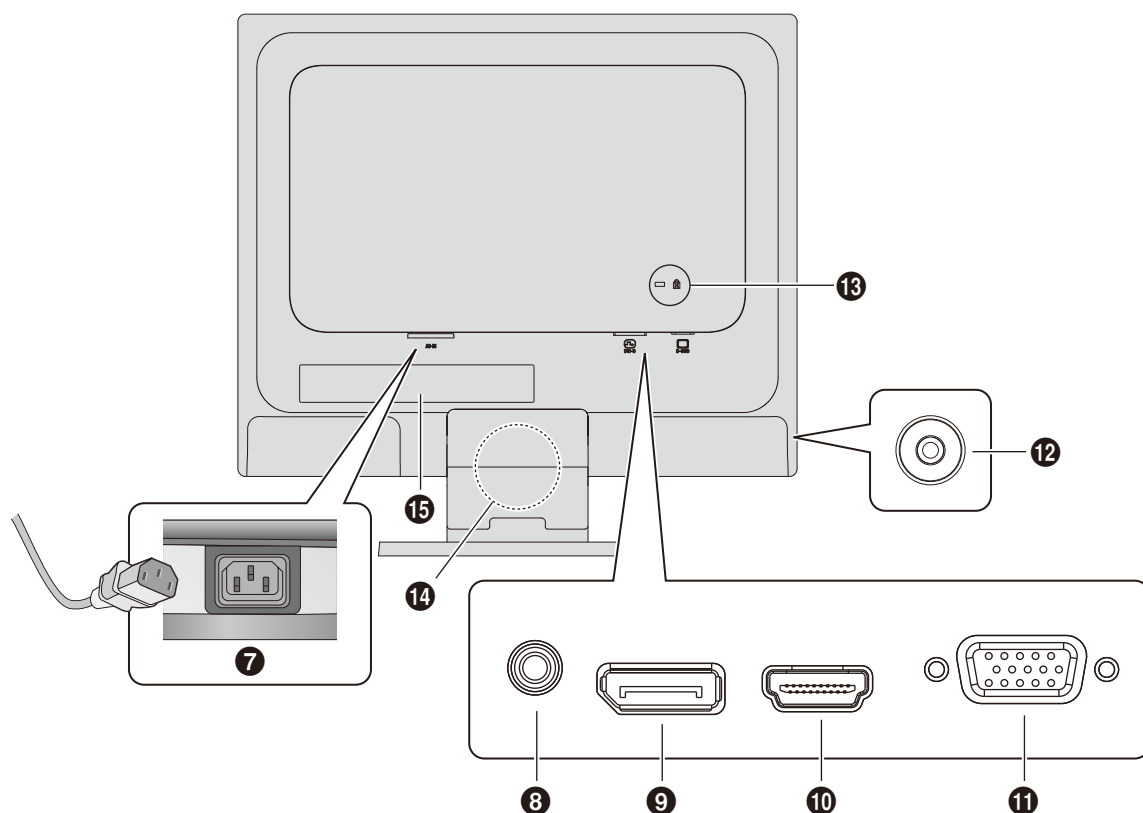
### ⑥ SELECT ボタン

OSD 画面が表示されていないとき

- ・ OSD 画面を表示します。
- ・ 3 秒以上押すと「L/B」（ブルーライト低減モード）に切り替わります。[\(32 ページ\)](#)

OSD 画面が表示されているとき

選んだ調節項目を決定します。



#### ⑦ 電源入力コネクタ

電源コードを接続します。

#### ⑧ オーディオ入力端子

オーディオケーブルを接続します。

#### ⑨ DisplayPort 入力コネクタ

デジタル映像インターフェースの DisplayPort ケーブルを接続します。

#### ⑩ HDMI 入力コネクタ

HDMI ケーブルでデジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。

#### ⑪ ミニ D-Sub 15 ピン入力コネクタ

ミニ D-Sub 15 ピンケーブルを接続します。

#### ⑫ ヘッドホン端子

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

#### ⑬ セキュリティスロット

セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。

製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

#### ⑭ ケーブルホルダー

接続後のケーブルをすっきりまとめます。

#### ⑮ ラベル

# 接続

## 外部ビデオ信号の接続

- ミニ D-Sub 15 ピン (VGA) – コンピューターとの接続に用いられるアナログ映像信号。映像のみで、音声信号は含みません。
- HDMI – コンピューターやストリーミングメディアプレーヤー、Blu-ray プレーヤー、ゲーム機器などとの接続に用いられる高精細デジタル映像で、音声信号を含みます。
- DisplayPort – コンピューターとの接続に用いられる高精細デジタル映像で、音声信号を含みます。

## コンピューターとの接続

本機はコンピューターのディスプレイとして使うことができます。下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると自動的に適切な画面を表示します。

解像度			垂直走査周波数	スキャンタイプ	備考
水平		垂直			
640	×	480	60/72/75 Hz	p	
720	×	400	70 Hz	p	
720	×	480	60 Hz	p	
720	×	576	50 Hz	p	
800	×	600	56/60/72/75 Hz	p	SVGA
1024	×	768	60/70/75 Hz	p	XGA
1280	×	960	60/75 Hz	p	
1280	×	1024	60/75 Hz	p	SXGA、推奨解像度 (60Hz)

p：プログレッシブ

### お知らせ

入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。  
ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

## HDMI 出力端子のある機器との接続

本機は HDMI 出力付きプレーヤーやコンピューターなどと接続して使用することができます。詳しくは、プレーヤーなどの取扱説明書を参照ください。

- オーディオ入力は OSD メニューの「TOOL」→「SOUND INPUT」で「HDMI」を選択します。
- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。
- HDMI 機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。



## DisplayPort 出力端子のある機器との接続

---

本機は DisplayPort 出力付きコンピューターなどと接続して使用することができます。

詳しくは各コンピューターの取扱説明書を参照してください。

- オーディオ入力は OSD メニューの「TOOL」→「SOUND INPUT」で「DP」を選択します。
- DisplayPort ケーブルは DisplayPort 認証ロゴがついているものを使用することを推奨します。
- コンピューターによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- DisplayPort ケーブルはロック付きのものが 있습니다。ケーブルを取り外す際は、ケーブルコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- 信号変換アダプターを使用した機器からの信号を DisplayPort に接続しても映像が表示されない場合があります。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後本機の電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

## DisplayPort ケーブル接続時に画面にノイズが発生する場合

---

添付ケーブル以外のケーブルをご使用の場合や接続するコンピューターによっては、画面にちらつき状のノイズが発生したり、画像が表示されない場合があります。その場合は以下の操作で改善される場合があります。

- ① ディスプレイから DisplayPort ケーブルを抜きます。
- ② 「VIDEO INPUT 画面 (3 DP NO SIGNAL)」の OSD 画面が表示されたら「SELECT」キーを押します。
- ③ 「VIDEO INPUT 画面 (3 DP DP LONG CABLE)」の OSD 画面が表示されたら「-」または「+」キーを押して設定値を変更してください。  
添付ケーブルより短いケーブル長の場合：「-」キーで小さい数字に変更  
添付ケーブルより長いケーブル長の場合：「+」キーで大きい数字に変更
- ④ 変更後 DisplayPort ケーブルを再接続し画面を確認してください。
- ⑤ 画面ノイズが消えない場合には①～④を繰り返してください。

# 設置

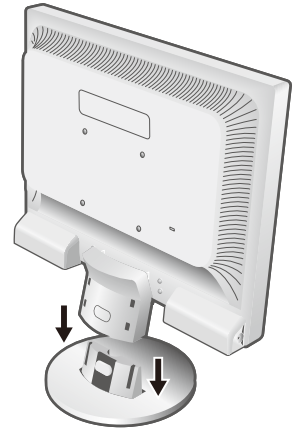
お買い上げいただいたときに同梱されている付属品はセットアップマニュアルを参照ください。  
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご確認ください。

## ベーススタンドを取り付ける

水平な机の上にベーススタンドを置いてください。ベーススタンドのくぼみに本体スタンド部をあわせ、奥までしっかりさし込んでください。

### ⚠ 注意

- ベーススタンドと本体スタンド部が確実に取り付けられていないと本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。
- 取り付けた際にベーススタンドと本体スタンドの四隅に段差がなく均一な面になっていることを確認してください。
- ベーススタンドに本体を取り付ける際に指をはさまないように注意してください。



## 接続する

### 接続する前に

- 本機を使用する場所に設置してください。
- コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
- それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

### 1 信号ケーブルを接続する

#### 注意

添付のケーブルを使用してください。

ミニ D-Sub15 ピンはシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。HDMI、DisplayPort、AUDIO はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

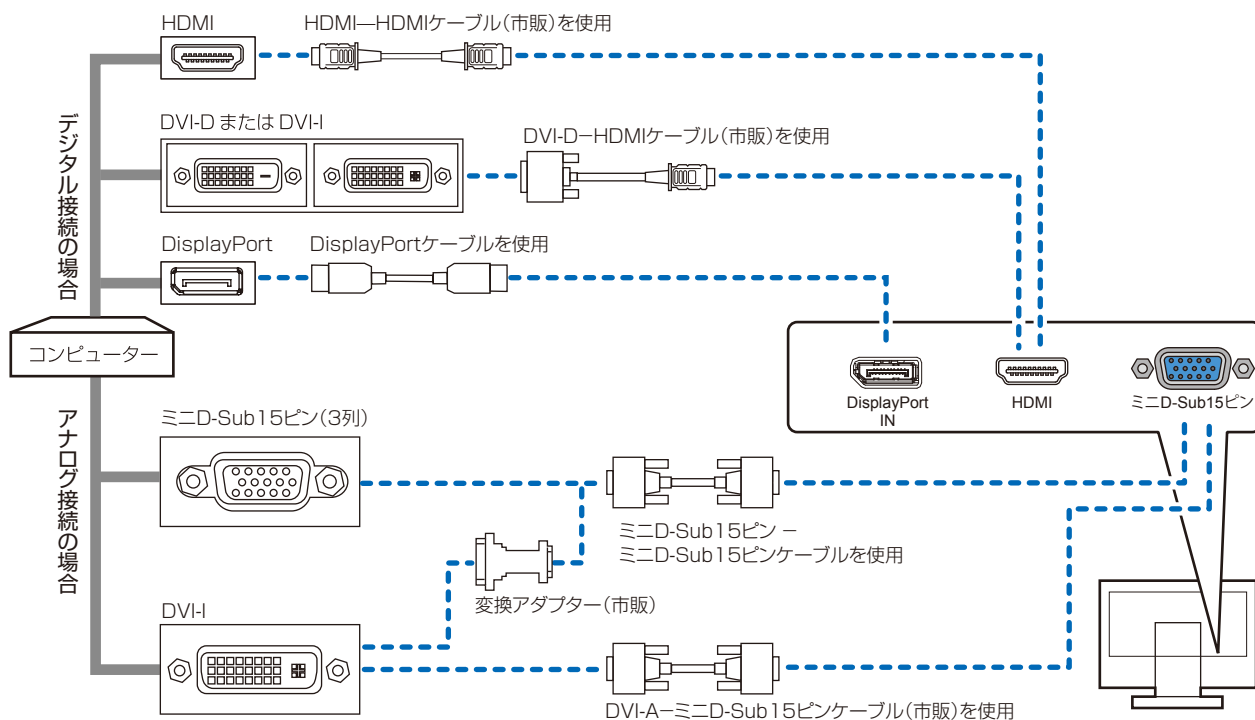
信号ケーブルおよび変換アダプター（市販）は、コネクターの向きを確かめ、垂直に奥までしっかりと差し込んでください。

#### お願い

- 本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。
- DisplayPort ケーブルは付属品をご使用ください。

## お知らせ

- 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。
- 信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。



- ※ 市販の変換アダプターやケーブルをご使用の際は接続されるコンピューターのコネクタ形状にあったものをお買い求めください。
- ※ HDMI Audio または DisplayPort Audio を使用する場合は「TOOL」→「SOUND INPUT」で「HDMI」または「DP」を選択します。(33 ページ)
- ※ DisplayPort ケーブルにはロックが付いています。ケーブルを取り外す際は、ケーブルコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- ※ 信号変換アダプターを使用した機器からの信号を DisplayPort に接続しても映像が表示されない場合があります。
- ※ ケーブル類は端子の向きを確認してつないでください。
- ※ HDMI、DisplayPort 規格に準拠した機器およびケーブルを接続してください。
- ※ HDMI 接続の場合、一部の機器では映像や音声がでないなど、正常に動作しない場合があります。
- ※ 1 台のコンピューターに接続するディスプレイはデジタル接続、アナログ接続のいずれか 1 つの接続方法となります。

## 2 オーディオケーブル(市販)を接続する

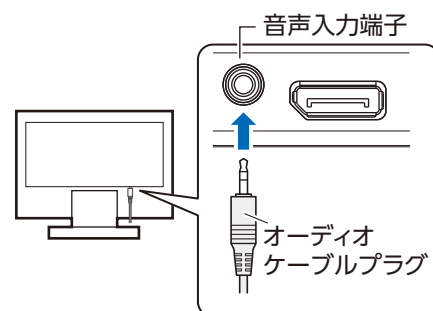
※オーディオケーブルをご使用にならない場合はこの作業は不要です。

(ミニ D-Sub 15 ピン入力時)

オーディオケーブル(市販)のプラグを音声入力端子に奥までしっかり差し込みます。

(DisplayPort/HDMI 入力時)

DisplayPort ケーブルまたは HDMI ケーブル(市販)で接続した場合、本接続は不要です。



### お知らせ

- コンピューターによっては DisplayPort または HDMI から音声を出力する場合、コンピューター本体の設定変更が必要となる場合があります。詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご確認ください。
- オーディオケーブルは 3.5φステレオミニプラグを使用してください。
- 接続するオーディオ機器やコンピューターの音声出力端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用してください。
- 抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。

## 3 電源を接続する

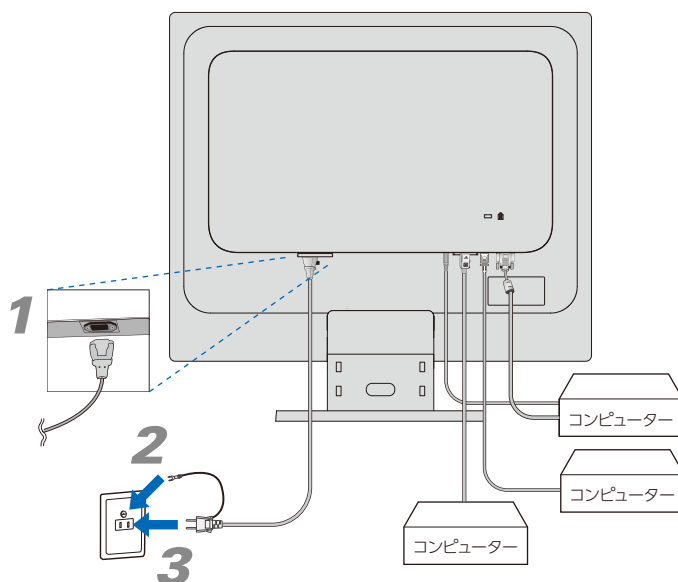
### お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

### 1. 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む

### お願い

奥までしっかりと差し込んでください。



### 2. アースリード線を接地 (アース接続) する

### 3. 電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続する

#### ⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。
- AC100V 以外で使用しないでください。
- 電源プラグのアースリード線は必ず接地（アース）してください。なお、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

#### お願い

電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

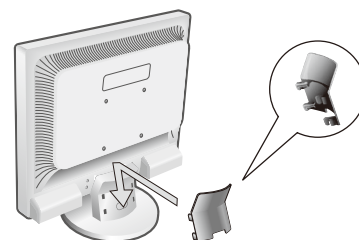
### 4. ケーブルホルダーを取り付ける

※ケーブルホルダーをご使用にならない場合はこれらの作業は不要です。

スタンド背面のくぼみにケーブルホルダーをあわせ、矢印方向にしっかり差し込んでください。

#### ⚠ 注意

取り付け、取り外しの際は、ケーブルホルダーに指をはさまないように気を付けてください。けがの原因となることがあります。取り外しの際は、ケーブルホルダーのツメを片方ずつ取り外してください。



#### お願い

- ケーブル類はケーブルホルダーに確実に入れ、また均等に収めるようにしてください。
- 画面を前後に動かし、ケーブル類に十分な余裕があることを確認してください。

### 5. 本機の電源を入れてから、コンピューターの電源を入れる

## 4 調節をおこなう

#### 1. 画面の調節をおこなう

##### ■ デジタル接続の場合（DisplayPort 入力コネクタ、HDMI 入力コネクタ）

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

##### ■ アナログ接続の場合（ミニ D-Sub15 ピン入力コネクタ）

まずは「自動調節をする（アナログ接続の場合）」（23 ページ）の手順に従って自動調節をしてください。

自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は、「画面調節（OSD 機能）」（24 ページ）をご覧ください。

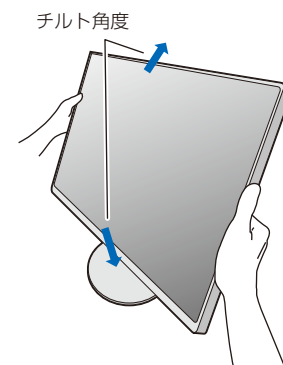
#### 2. 角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。

右図のように見やすい角度に調節します。

#### ⚠ 注意

角度調節時に、指をはさまないように気を付けてください。けがの原因となることがあります。



液晶画面を押さないようにしてください。

## ヘッドホンの接続

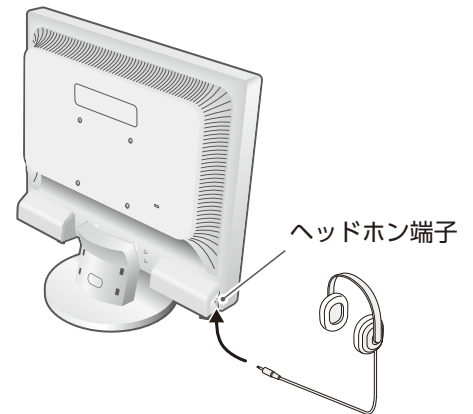
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

### ⚠ 注意

ヘッドホンを装着したまま接続しないでください。  
音量によっては耳を傷める原因となることがあります。

### お知らせ

- 液晶ディスプレイに接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、市販の「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。



## 2 章 基本操作

### この章の内容：

- ⇒ 電源オンモードと電源オフモード (21 ページ)
- ⇒ Plug&Play 機能 (21 ページ)
- ⇒ 拡大・スモーキングファイン機能 (21 ページ)
- ⇒ ノータッチオートアジャスト機能 (NTAA: No Touch Auto Adjust) (アナログ接続の場合のみ) (21 ページ)
- ⇒ 自動入力選択機能 (21 ページ)
- ⇒ パワーマネージメント機能 (22 ページ)
- ⇒ 画面調節 (23 ページ)
- ⇒ 画面調節 (OSD 機能) (24 ページ)



## 電源オンモードと電源オフモード

本体の  ボタンを押して本機をオンにします。

本体の電源ランプが、電源の状態を示します。電源ランプと本機の状態とその復帰方法については、以下の表を参照ください。

電源ランプ色と点灯パターン	状態
青色点灯	通常動作時
橙色点灯	選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合

### お知らせ

通常動作時は青色に点灯します。

## Plug&Play 機能

VESA の DDC (Display Data Channel) 2B 規格または DisplayPort 規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。

詳しくはコンピューターの取扱説明書を参照ください。

## 拡大・スケーリングファイン機能

1280 ドット × 1024 ラインより低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

### お知らせ

入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

## ノータッチオートアジャスト機能 (NTAA: No Touch Auto Adjust) (アナログ接続の場合のみ)

(800 × 600 以上の解像度のみ)

信号が入力されると必要に応じて自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

## 自動入力選択機能

ビデオ信号の入力の有無によって自動的にビデオ信号の入力がある方を表示する機能です。

複数のコンピューターを本機につなぎ、同時に使用している場合、INPUT/RESET ボタンを押さなくても、現在表示中のコンピューターの電源が切れると自動的に他のコンピューターの画面に切り替わります。

# パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

## お知らせ

この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力（標準値）	電源ランプ
最大動作時	20W	青色点灯
通常動作時（出荷設定時）	12W	青色点灯
パワーセーブモード時	0.30W	橙色点灯
電源オフ時	0.25W	点灯なし

水平または垂直同期信号がオフ状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

## お知らせ

キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。

画面が復帰しない場合またはパワーマネージメント機能のないコンピューターと接続して使用の場合、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源がオフになっていることが考えられますのでご確認ください。

## HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection)

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。

HDCP に対応した映像機器を接続することにより、HDCP で保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

ただし、HDCP の規格変更などがおこなわれた場合、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。

# 画面調節

## 自動調節をする（アナログ接続の場合）

本機をコンピューターとアナログ接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。（24 ページ）

自動調節はコントラストの自動調節と表示位置、水平サイズや位相の自動調節の 2 つに分かれています。2 つともおこなってください。

### お知らせ


- 本手順はアナログ接続の場合のみです。デジタル接続の場合は必要ありません。
- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- 操作のしかたの詳細については、「画面調節（OSD 機能）」（24 ページ）をご覧ください。

### 1. 本機の電源を入れてから、コンピューターの電源を入れる


### 2. 画面全体にワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

### 3. 液晶ディスプレイ前面の SELECT ボタンを押し、OSD メニューを表示する


### 4. コントラストの自動調節をおこなう

- ① + ボタンを押し、「」にカーソルを移動し、SELECT ボタンを押します。
- ② INPUT/RESET ボタンを押します。  
コントラストの自動調節が実行されます。  
手順 5 に進みます。

### 5. 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう

- ① コントラストの自動調節が終わったら、SELECT/ + ボタンの順に押して「」にカーソルを移動し、SELECT ボタンを押します。
- ② INPUT/RESET ボタンを押します。左右の表示位置、上下の表示位置、水平サイズ、位相の自動調節が実行されます。  
自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。  
「実行中」の文字が消え、元の画面が表示されたら、調節完了です。  
これですべての自動調節が完了しました。

### 6. OSD メニューを消す

- ① SELECT ボタンを押します。
- ② + ボタンを押して「」にカーソルを移動します。
- ③ SELECT ボタンを押し、OSD メニューを消します。

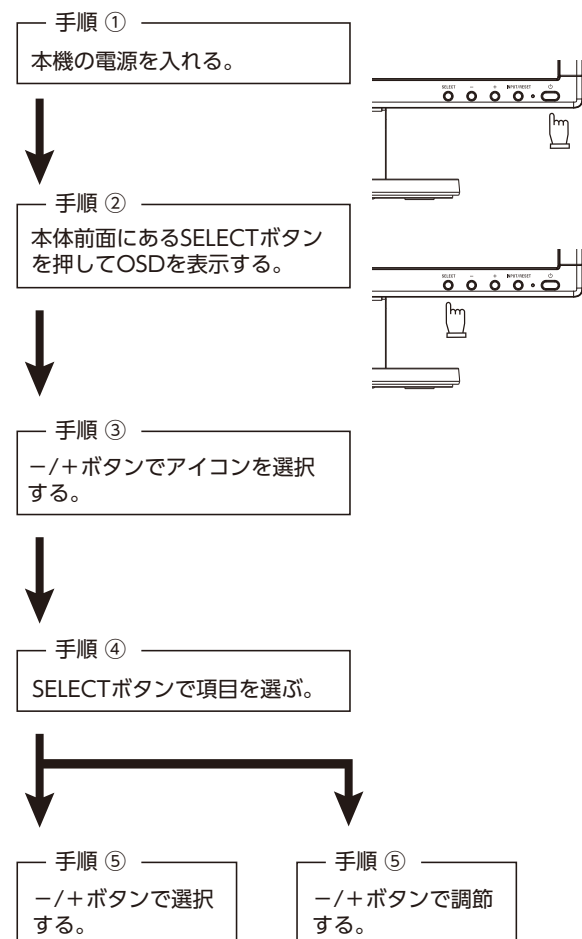
### お願い

- DOS プロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、マニュアル調節でお好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。

# 画面調節（OSD 機能）

本機には画面の調節が簡単にできる OSD（On Screen Display）機能がついています。  
OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節などをおこないます。

**OSD 画面の構成** OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。



その他、OSD で操作方法を表示している場合はそれに従ってください。

## お知らせ

上記のボタンのいずれも押さず OSD オートオフで設定された時間が経過すると OSD 画面は自動的に消えます。  
(工場設定は 45 秒です。)

## 3 章 困ったとき

この章の内容：

- ⇒ 故障かな？と思ったら… (26 ページ)
- ⇒ ディ스플레이を長くご使用いただくために (29 ページ)

# 故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

## 表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.17
		電源がオフになっている可能性がありますので、確認してください。	P.11
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れている可能性ががあります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	電源ランプが青色に点灯している場合	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.24
		● OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P.38
		● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P.32
		● OSD 画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.13
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P.22
		信号ケーブルが本機または接続機器のコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.13
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.15
		接続しているコンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	
画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合※	液晶パネルの故障や劣化の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P.38

※ ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

## 表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.1
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
線の太さなどがぼやける	1280 × 1024 以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色の変化が大きくなります。	P.31
画面の表示状態が変わっていく	ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 「DV MODE」が「ON」に設定されている場合、表示画面の内容により表示画面の明るさが自動的に調節されます。画面の明るさを固定する場合は、「DV MODE」を「OFF」に設定してください。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。電源を切るか、変化する画面を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	
表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。 ● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。「COLOR」を選択し、お好みで色の割合を調節していただくか、または映像設定リセットをおこなって工場出荷値に戻してください。 ● OSD 画面が正常に表示され、「COLOR」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.24 P.38 P.32 P.13
画面がちらつく (DisplayPort ケーブル接続時)	添付ケーブル以外のケーブルを接続している。 接続するコンピューターによって症状が変化する場合があります。 「DisplayPort ケーブル接続時に画面のノイズが発生する場合」を参照ください。	P.14
画面がざらつく(上記以外の場合)、 または映像が一瞬途切れる	分配機を使用している場合は、分配器を中断せず、コンピューターと直に接続してください。 OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。 ● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。アナログ接続の場合は、「位相」を選択し調節してください。「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.24 P.38 P.13, P.32
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。	



## 案内画面／注意画面が表示されたら…

症 状	原 因	対 処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された ※ <sup>1</sup>	信号ケーブルが本体またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本体およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P.13
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	
画面に「OUT OF RANGE」が表示された ※ <sup>2</sup>	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.13
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.13

※ 1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※ 2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

## その他（コンピューターと接続している場合）

症 状	原 因	対 処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	ビデオカードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。

## その他（スピーカー）

症 状	原因と対処	参照
映像は出るが、音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。オーディオケーブルを本機およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。</li> <li>● ヘッドホンがつながっている場合、スピーカーから音は出ません。ヘッドホンを外してください。</li> <li>● 消音状態になっていませんか。OSDメニューの「音量」の「ミュート」の設定を確認してください。</li> <li>● 音量が最小になっていませんか。OSDメニューの「音量」を調節してください。</li> <li>● パワーマネージメント機能が作動していると音は出ません。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。</li> <li>● コンピューター本体の設定変更が必要な場合があります。お使いのコンピューターの取扱説明書をご確認ください。</li> <li>● HDMI接続またはDisplayPort接続している機器によっては音声出力非対応の場合があります。</li> <li>● 映像入力と音声入力が異なっていませんか。「SOUND INPUT」を切り替えてください。</li> <li>● DisplayPort Audioを使用している時、OSD「TOOL」メニューの「SOUND INPUT」の設定が入力と異なっている。OSD「TOOL」メニューの「SOUND INPUT」の設定を「DP」にしてください。</li> <li>● 抵抗ありのオーディオケーブルを使用していないですか。抵抗なしのオーディオケーブルをご使用ください。</li> </ul>	P.17, P.19, P.22, P.32, P.33

# ディスプレイを長くご使用いただくために

---

## 残像について

液晶パネルに長時間同じ画面を表示していると、前の画像が残像となることがあります。(画面表示が残る「残像」)

画面の残像は恒久的なものではありませんが、同一の静止画像を長時間表示した場合、残像除去が不可能になることがあります。(恒久的焼き付き)

### 推奨事項

恒久的焼き付きを防いでディスプレイの寿命を延ばすために、以下を推奨します。

- 同一の静止画像を長時間表示し続けない。
- コンピューターのパワーマネジメント機能やスクリーンセーバーを使用する。

## 4 章 仕様

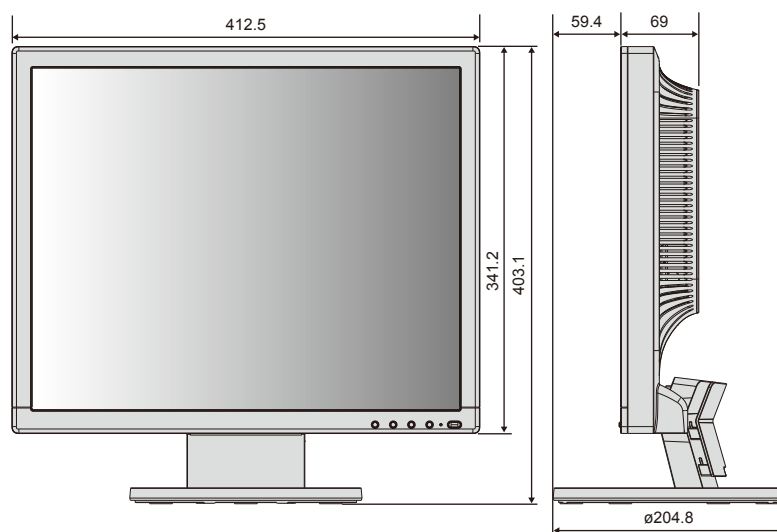
この章の内容：

⇒ [N8171-56 \(31 ページ\)](#)

# N8171-56

型名				N8171-56	
サイズ(表示サイズ)				19型(48.00 cm)	
有効表示領域				374.8×299.8 mm	
表示画素数				1280×1024	
画素ピッチ				0.293 mm	
表示色				約1677万色	
視野角(標準値) <sup>※1</sup>				左右178°、上下178°	
輝度(標準値)				250 cd/m <sup>2</sup>	
コントラスト比(標準値)				1000:1(3000:1、DV MODE オン時)	
応答速度(標準値)				14 ms(6 ms RESPONSE IMPROVE オン時) (G to G)	
走査周波数	水平周波数			31.5 - 81.0 kHz	
	垂直周波数			50 ～ 75 Hz	
入力端子	DisplayPort	DisplayPort コネクター	デジタルRGB信号	DisplayPort規格 Ver1.1a準拠 HDCP 1.3	
	HDMI	HDMI コネクター	デジタル色差信号 デジタルRGB信号	HDMI HDCP 1.4	
	VGA(RGB)	ミニD-Sub15ピン	アナログRGB信号	RGB : 0.7 Vp-p/75 Ω	
			同期信号	セパレート同期信号 : TTLレベル 正/負極性	
音声端子	オーディオ入力	3.5φステレオミニジャック×1	アナログ音声信号	ステレオ L/R 1.0 Vrms	
		DisplayPort コネクター	デジタル音声信号	PCM 32,44.1,48 kHz (16, 20, 24 bit),2ch	
		HDMI コネクター	デジタル音声信号	PCM 32,44.1,48 kHz (16, 20, 24 bit),2ch	
	オーディオ出力	3.5φステレオミニジャック×1	音声信号	インピーダンス32 Ω	
音声出力		スピーカー		1 W+1 W(ステレオ)	
使用環境条件	温 度			5 ～ 35℃	
	湿 度			20 ～ 80%(結露のないこと)	
保管環境条件	温 度			-10 ～ 60℃	
	湿 度			10 ～ 85%(結露のないこと)	
電 源	電源入力		AC100 V、50/60 Hz		
	消費電力 (標準値)	最大動作時	約20 W		
		通常動作時	約12 W(出荷設定時)		
		エコモード時	12W(ECO MODE1)、9W(ECO MODE2) (オーディオ非動作時)		
		パワーセーブ時	0.30 W		
質 量				約3.7 kg(スタンドなし約3.4 kg)	
チルト角度				上20°、下5°	

外形寸法


















仕様は予告なしに変更することがあります。

寸法: mm

※1 視野角：白と黒のコントラスト比が 10 以上で表示できる角度を示します。

# 付録 A OSD 調節リスト

 音量	<p>スピーカーの音量を調節します。</p> <p>INPUT/RESETボタンを押すと、ミュート（消音）状態になります。</p> <p>もう一度INPUT/RESETボタンを押すと、ミュート（消音）状態はOFFになります。</p>
 ブライツネス	<p>画像の明るさをバックライトで調節します。</p> <p>INPUT/RESETボタンを押すと、エコモード状態になり、消費電力を軽減します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>「DV MODE」が「オン」に設定されている場合は、「ECO MODE」は「オフ」となり変更できません。</p>
ECO MODEオフ	最大値を100%に設定します。
ECO MODE1	「ブライツネス」を80%に設定します。
ECO MODE2	「ブライツネス」を40%に設定します。
 コントラスト	<p>コントラストを調節します。INPUT/RESETボタンを押すと「DV MODE」のON/OFFを切り替えます。</p>
DV MODE	画面表示に黒い部分が多くなると自動的に画面の明るさを下げ、コントラストを向上させます。
 オートコントラスト (アナログ接続のみ)	コントラストを自動調節します。
 自動調節 (アナログ接続のみ)	左右方向、上下方向の表示位置、水平サイズ、位相を自動調節します。
 左/右 (アナログ接続のみ)	左右方向の表示位置を調節します。
 下/上 (アナログ接続のみ)	上下方向の表示位置を調節します。
 水平位置 (アナログ接続のみ)	画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。
 位相 (アナログ接続のみ)	<p>画面に横方向のノイズが表示されるときに調節します。</p> <p>また、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしないときに使用します。</p>
 NATIVE COLOR	<p>色を調節します。あらかじめ設定されている色の設定値を選択します。</p> <p>設定されている色（9300/7500/sRGB/USER/NATIVE/L/B）がアイコンで表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SELECT ボタンを3秒以上押すと「L/B」（ブルーライト低減モード）に切り替わります。</li> <li>色合いを変更する場合はSELECT ボタンを押してOSD画面を表示し、「COLOR」から変更します。</li> <li>「L/B」を選択している場合、「コントラスト」と「DV MODE」は設定できません。</li> </ul>
 RED	赤色を調節します。
 GREEN	緑色を調節します。
 BLUE	青色を調節します。

 TOOL	TOOLアイコンを選択すると下記のアイコンに切り替わります。
 RESPONSE IMPROVE	RESPONSE IMPROVEをオンにすることにより、液晶の中間調応答速度が向上します。動画表示時における残像感を低減させることができます。
 DDC/CI	「DDC/CI」機能を「オン」/「オフ」します
 CO <sub>2</sub> 削減量	電源オン時およびパワーマネージメント機能動作時の積算した省エネ効果をCO <sub>2</sub> 削減量 (kg) で表示します。 CO <sub>2</sub> 削減量、OECD (経済協力開発機構) 2008年EditionのCO <sub>2</sub> - 電力量換算値に基づいて算出しています。 表示値はINPUT/RESETボタンを押すと、0.0kgにリセットされます。
 CO <sub>2</sub> 排出量	本機による累積CO <sub>2</sub> 排出量を表示します。この値は計算によって求めた概算値であり、実測値とは異なります。 排出量は、OECD (経済協力開発機構) 2008年EditionのCO <sub>2</sub> - 電力量換算値に基づいて算出しています。 表示値はINPUT/RESETボタンを押すと、0.0kgにリセットされます。
 MONITOR INFO.	モデル名、シリアルナンバーを表示します。
 SOUND INPUT (DisplayPort、HDMI入力のみ)	スピーカーまたはヘッドホンから出力される音声を「AUDIO IN」、「HDMI」または「DP」から選択します。
 OSD TOOL	OSD TOOLアイコンを選択すると下記のアイコンに切り替わります。
 言語切替 (LANGUAGE)	OSD画面の表示言語を切り替えます。
 OSDオートオフ	OSD画面が自動的に消えるまでの時間を設定します。 5秒単位で10秒～120秒の範囲から選択できます。
 OSDロック	誤って調節してしまうことを防ぐためのOSD 画面操作禁止機能です。OSDロック中でも「ブライトネス」と「音量」は調節可能です。  <b>OSDロックを設定する</b> OSD画面を表示し、メニューツールの「OSDロック」が選択された状態で、INPUT/RESETボタンを押しながら+ボタンを押してください。OSDがロックされ「OSDオートオフ」で設定された時間後にOSDメニューは消えます。  <b>ロックを解除する</b> OSDが表示されている状態で、INPUT/RESETボタンを押しながら+ボタンを押すとロックが解除されます。
 入力表示	「オン」：入力信号が切り替わったときに、画面右下に入力信号の情報を表示します。 <b>お知らせ</b> 初めて電源を入れた時にコンプライアンスマークを表示します。 電源コードを抜き再接続した場合を除き、その後マークの表示はしません。入力信号を切り替えてもコンプライアンスマークは表示しません。  「オフ」：入力信号が切り替わっても、画面右下に入力信号の情報が表示されません。 <b>お知らせ</b> 電源を入れた時にコンプライアンスマークを表示しません。
 オールリセット	INPUT/RESETボタンを押すと、「ミュート」、「CO <sub>2</sub> 削減量」、「CO <sub>2</sub> 排出量」、および「入力情報」以外の設定を工場出荷の状態に戻します。画面の表示にしたがって操作してください。
 EXIT	OSD画面を消します。

## 付録 B 再梱包するとき / 市販のアームを取り付けるとき

この章の内容：

- ⇒ 再梱包するときには（35 ページ）
- ⇒ 市販のアームを取り付けるとき（36 ページ）



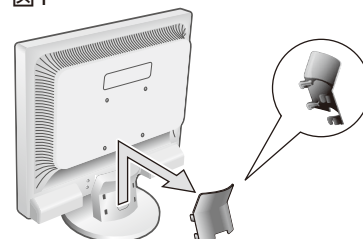
## 再梱包するときには

再梱包の際は次の手順でケーブルホルダー、ベーススタンドを取り外してください。

### ケーブルホルダーを取り外すとき

図 1 の矢印方向にケーブルホルダーをスライドさせ、取り外してください。

図1

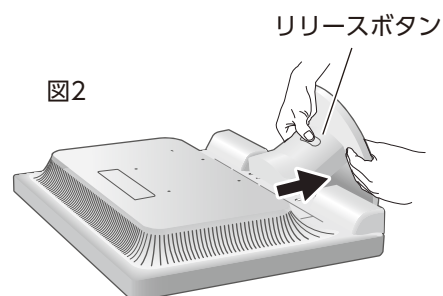


### ベーススタンドを取り外すとき

水平な机の上に柔らかい布を敷き、その上に本体表示部を下になるように置いてください。

図 2 のように片手でベーススタンドを持ち、もう一方の手でリリースボタンを押し、矢印の方向に引いてください。

図2



#### 注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。

また、突起など無い事を確認し表示部を傷つけないように注意してください。

リリースボタンを押す際に指をはさまないように注意してください。

## 市販のアームを取り付けるとき

本機には VESA 規格に準拠した（100mm ピッチ）市販のアームを取り付けることができます。

### ⚠ 注意

アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。本機の質量は「仕様」を参照ください。

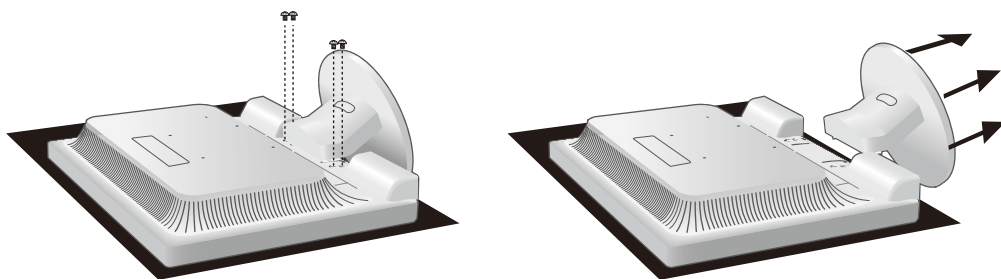
### お願い

市販のアームについては販売店にお問い合わせください。

アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

### スタンドの取り外し方

1. 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源コードを取り外す
2. 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置く
3. スタンドを取りつけている 4 本のネジを取り外し、スタンドを引き抜く



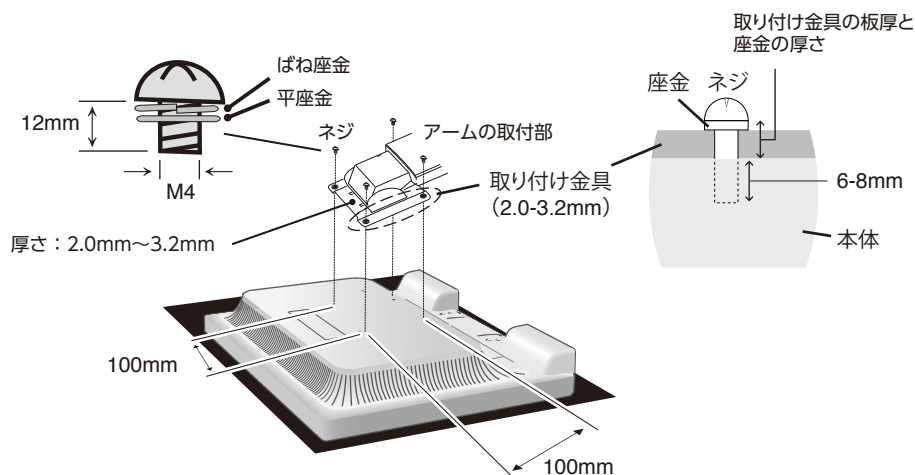
## アームの取り付け方

### 1. 下記仕様のアームを取り付ける

取り付け可能アーム：

取り付け部厚み 2.0mm ～ 3.2mm

VESA 規格準拠（100mm ピッチ）



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

### ⚠ 注意

- ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。  
(ただし、締めつけすぎるとネジがこわれることがあります。98 ～ 137N・cm が適切な締付トルクです。)
- 液晶ディスプレイの表示部を下にし置いたまま固定できないときは、2 人以上で取り付け作業をおこなってください。  
落下してけがの原因となることがあります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。  
万一事故が発生した場合でも、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。
- アームを取り付ける際は、必ず図の仕様のネジをお使いください。  
それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因となることがあります。
- 市販のアームに取り付ける場合は、電源ランプを下側にした状態で設置してください。

# 付録 C その他

## 保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。  
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| ●お名前          | ●製造番号（本機背面のラベルに記載）    |
| ●ご住所（付近の目標など） | ●故障の症状、状況など（できるだけ詳しく） |
| ●電話番号         | ●購入年月日または使用年数         |
| ●品 名：液晶ディスプレイ |                       |
| ●型 名：N8171-56 |                       |

N8171-56 19型液晶ディスプレイ  
取扱説明書  
2021年4月2版

日本電気株式会社  
東京都港区芝5丁目7番1号